

遠 慶



新潟教区報 第118号
2017(平成29)年9月1日発行



本願寺新潟別院 子ども報恩講



日時 平成二十九年六月二十六日(月)十六時三十分～十七時三十分まで
会場 本願寺新潟別院(子ども六十名・スタッフ十八名参加)
内容 おつとめ(重誓偈)・法話・腕輪念珠・プラ板キーホルダー作り

「子ども報恩講を通して」

巻組 安養寺住職 堂谷 弘頌

この度、六月二十六日に新潟別院の子ども報恩講にご法話のご縁をいただきました。

話し始めると、子ども達は思った以上に真剣に聞いてくれているんだという印象を受けました。また、子どもに向けてのご法話なので、大人に話すのと同じようにという訳にはまいりません。言葉遣いや専門用語は極力使わないなど、様々な配慮が必要になります。子ども達が身近な日常生活で感じられることを例にしながら話すことに注意しました。

話す内容は、浄土真宗のご法義ですから、阿弥陀様が「私を浄土に生まれさせ、仏とする」というご本願を私の心に据えて、間違いなくお伝えすることを心がけて話を進めました。

その後子ども達には、腕輪念珠作りとプラ板キーホルダー作りで楽しんでいただきました。お土産に、各自が作ったものとお菓子、帰宅後に家族の方に読んでもらえる報恩講のリーフレットを持ち帰っていただきました。

これから住職として勤めさせていただくにあたり、今回の経験を活かして活動して行きたいと思えます。

『青年布教使大会』

講師

洪野 明子さん（本願寺派布教使・新潟組金照寺衆徒）
黒田 宙さん（本願寺派布教使・三条組福勝寺衆徒）

平成二十九年七月二十七日（木）十四時から十六時まで、新潟別院を会場に、青年布教使大会が開催されました。各連盟総会や研修会・実践運動各組巡回協議会等でご案内し、布教団役員・講師・教務所職員もご聴聞させていただきました。

『青年布教使大会について』

新潟教区布教団副団長 巻組源昌寺住職 前田 昌光

七月二十七日、新潟別院において青年布教使大会が開催されました。門信徒が多数ご聴聞の中、二人の青年布教使の方からご法話をいただきました。

布教使にとって机上と実践では大きく違います。その場の雰囲気や相手の表情は机上で学ぶことはできません。門信徒と向き合って法話をさせていただくという実践を通して初めて、いかにはつきりとわかりやすく、み教えをお伝えできるかを学ぶことができます。青年布教使にとって実践の学びが不足する中、このような会があることで大きな経験になります。

また終了後に布教団で講評があり、布教使同士の意見を交わす貴重な場でもありました。

今後、一過性でなく継続性をもって行うことにより、新たな青年布教使の経験の場となり、お互い研鑽を積む活動になっていければと思うことであります。



黒田 宙さん



洪野 明子さん

参加者の声

与板組雲外寺門徒 丸山 正義さん

青年布教使の中でも、布教使になられて日が浅い若手の方が講師ということでしたが、お二人とも詰まる事も無く、しっかりとお話されておりました。

ご法話にはそれぞれの良さがありましたが、何より、お二人とも一生懸命に話されていた事が非常にうれしかったです。

元上組託念寺門徒 堀井 善治さん

お二人とも素晴らしいお話でした。特に黒田さんのお話は経験の浅い若手とは思えないくらい落ち着いていて、心に響く法話でした。また、一点気付いた事として、今回に限らずですが、僧侶の方々は板書の字は綺麗なのですが、漢字の書き順に気になる点がありました。

元上組明鏡寺門徒 若月 トシさん

洪野さんは新潟別院の謝恩講と明鏡寺の仏教婦人会研修会にも来ていただいた事がありました。回数を増すごとに、より分かりやすく聞きやすいお話になっていくような印象を受けました。黒田さんはベテランの布教使さんのように落ち着いてお話されているように見えました。お二人とも例えのお話がとても分かりやすく、心に残るお話でした。

「南無阿弥陀仏」という仏さま

長岡組西福寺住職 高橋 純明

夏に地上に出てきて夏の内に息絶える蝉は、春や秋という季節の様子を識りません。夏に地上に出てくるからといって、その時が夏であるということも夏という季節が暑いということも知らないといえます。私達は迷いの中に在りながら、迷いの中にあることを知りません。人間に生まれる以前の生涯も、こののちが終わった先のことも分からない私達は、今が迷いであることが分からないのです。

仏法を疑い、仏さまに背き続けてきたのが私のいのちの歴史です。だから未だに思い通りにならない迷いの世界から抜け出すことが出来なまま、人間のいのちを生きているのです。

私の一切の迷いの歴史を見尽くしている仏さまは、どんなに背かれようとも飽くことなく絶えることなく私に係わり続け、私のどのような迷いも、どのような疑いも破り尽くし、すみやかに私をお浄土に生まれさせ、おさとの仏さまと成らせるに間違いないと、喚び続けてくださっているすがすがしいが、今私の上に届いている南無阿弥陀仏です。私のいのちの歴史の一切を問わず、私のいのちの行方を明らかにしてくださっているのです。このいのちが尽きた時、お浄土にまいらせていただきます阿弥陀さまと同じおさとの仏さまにさせていただくのです。よかったですね、南無阿弥陀仏の仏さまとお出遇い出来ました。よかったですね、この次はお浄土の仏さまです。

「平成二十九年新瀉教区門徒総代研修総会に参加して」

地蔵堂組勝敬寺門徒 山岡 重雄

日時 平成二十九年六月十四日(水)十三時三十分～十六時三十分
会場 本願寺新瀉別院(参加者四十八名)
テーマ 伝灯奉告法要ご親教「念仏者の生き方」に学ぶ
講師 上戸 聰さん (新瀉教区与板組隆泉寺住職)

第一部は総会、第二部は研修会が開催されました。讚仏偈のおつとめ・教務所長挨拶・細山会長の挨拶の後、総会が始まり平成二十八年度事業報告・決算が可決されました。次に二十九年度の事業計画について説明があり、「御同朋の社会をめざす運動」を推進しよう―を重点目標とし、今年度の新瀉教区門徒総代研修会は地蔵堂組主管で、十一月二十日(月)・二十一日(火)で開催予定であることを確認しました。予算案についても説明がなされ、全員一致で承認されました。

第二部研修会は念仏者の生き方について、ご門主様のご親教を全員で音読し、伝灯奉告法要にお参りしてのご講師の感想などをお話いただきました。レジュメに記載の親鸞聖人御消息は、私にとっては難しかったのですが、ご講師より親鸞聖人のご生涯、幼い頃から特に比叡山での修行についてのところを、心情や感想を交え、解説いただきました。わかんなかった部分もあったので、最後にご講師に言われたように、いただいた冊子(伝灯奉告法要ご親教「念仏者の生き方」に学ぶ)を読んでみようと思いました。



研修会の様子



総会の様子

寺院巡り

三條組 西福寺

住所 三條市西大崎二一三九一一九
電話 〇二五六一三八一七六一六



降誕会の様子（三條市吹奏楽団コンサート）

西福寺の開基は皆川左衛門尉法賢という武士でありました。この、法賢は石川県加賀市大聖寺に住んでおりましたが、文明五年に本願寺第八世の蓮如上人が越前吉崎に御教導の折に上人の教えに帰依し、御名号を奉じて仏門へ入りました。そして天正十八年八月、第四世は本願寺第十

一世の顕如上人より「西福寺」の寺号を賜りました。

天保二年、第六世賢栄の時に本堂を建立し、御本尊（現存のお木像）を賜り、寛文五年には鐘樓堂及び墓所が造立されました。

その後、天保十七年に第七世賢意のときに本堂が再興され、それ以来、聞法の道場として私達のこころの拠りどころとなる阿弥陀様をご安置してきました。が、雨露風雪によって段々とその威容も損なわれて参りました。そこで、平成元年になり第二十世賢英により本堂の新築工事が始まり、平成四年に完成し、同年六月二十八日には本堂落成慶讃法要を勤修いたしました。

○今後の予定

ご関係の皆様、多くのご参拝、ご参加をお待ちしております。

・第三十七回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

日時 平成二十九年 九月十八日（月）十二時四十五分より
会場 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑（東京都千代田区三番町二）

・仏教婦人会連盟実践運動研修会Ⅱ

日時 平成二十九年 十月七日（土）

会場 本願寺新潟別院

講師 旭堂 さくらさん（講師・浪曲師・歌手）

・新潟別院謝恩講

日時 平成二十九年 十月二十三日（月）・二十四日（火）

講師 旭堂 薫さん（本願寺派布教使・新潟教区与板組常禅寺）
堂谷 弘頌さん（本願寺派布教使・新潟教区巻組安養寺）

・「御同朋の社会をめざす運動」推進現地学習会

日時 平成二十九年 十月三十一日（火）

内容 「狭山市民集会」への参加

・保育連盟研修会（内容未定）

日時 平成二十九年十一月十五日（水）

・門徒総代研修会（地藏堂組主管）

日時 平成二十九年十一月二十日（月）～二十一日（火）

会場 弥彦温泉四季の宿みのや

お知らせ

浄土真宗本願寺派 本願寺新潟別院 新潟教区布教団

浄土真宗ラジオ法話

忙しい毎日に、ほっと一息。ラジオで聞く浄土真宗のご法話です。

毎週月曜～金曜 16:15より

FMながおか80.7

またはインターネットサイマルラジオ
(<http://www.icbasimul.com/>)にて放送中

FMラジオ放送地域：長岡市全域、出雲崎町、見附市、小千谷市

FMながおか80.7で配信中のラジオ法話は、インターネットの繋がるPC・スマートフォンがあれば、**どこでも視聴可能です**（放送日・時間はラジオ放送と同様）。
下記アドレスよりご視聴ください。
<http://www.icbasimul.com/>

教区・別院ホームページ↓

アドレス：<http://nkyouku.jimdo.com/>

Email：nkyouku@aroma.ocn.ne.jp